

気象情報の改善について

1. 明後日（3日目）にかけての量的予報の発表
～3日先までの雨量や、2日先の風速などの予想を具体的な数値で発表します～
2. 短時間の大雪に対して一層の警戒を呼びかける情報
～北陸地方に加え、福島県と山形県でも実施～

令和元年12月9日
気象庁予報部予報課

気象情報の改善について

1. 明後日（3日目）にかけての量的予報の発表
～3日先までの雨量や、2日先の風速などの予想を具体的な数値で発表します～
2. 短時間の大雪に対して一層の警戒を呼びかける情報
～北陸地方に加え、福島県と山形県でも実施～

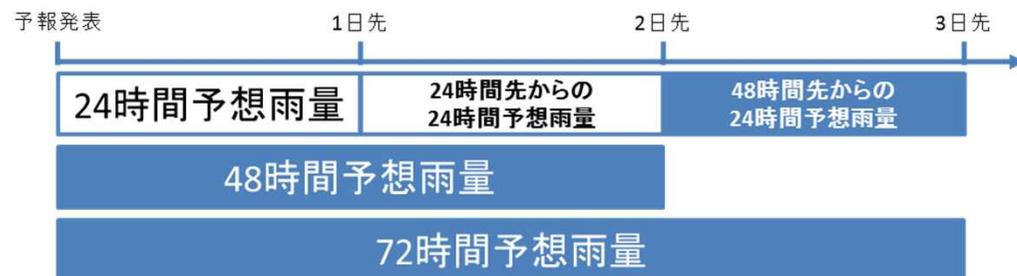
3日先までの雨量や、2日先の風速などの予想を具体的な数値で発表します

【背景】

- ・以前より、台風説明会や記者会見等において、3日先までの雨量や降雪量、明後日（2日先）の風速や波高の見通しを質問されることが多かった。
- ・近年「タイムライン」の考え方が社会に浸透しつつあり、具体的な防災行動計画を策定するにあたって、2、3日前から雨量や降雪量、風速、波高等を提供することが求められている。
- ・昨年、新たにスーパーコンピュータが整備され予報精度が向上したことに加え、予測の信頼度を把握する技術の向上が見られた。
- ・台風や低気圧などについて、3日先までの雨量や明後日（2日先）の風速などの予測の信頼度が高い場合には、今後、府県気象情報等を通じてこれらを具体的な数値で発表します。（11/21より実施）

3日先までの雨量や、2日先の風速などの予想を具体的な数値で発表します

1. 多いところでの「48時間予想雨量」、「72時間予想雨量」、「48時間先からの24時間予想雨量」を記述します。



※24時間予想雨量のそれぞれの和と、48時間予想雨量等の総雨量は、必ずしも一致しないので、それぞれの**数値は足し引きせず**にお使いいただくようお願いします。

2. 明後日（2日先）の予想最大風速・最大瞬間風速、予想波高を記述します。



既に実施

今般開始

府県気象情報での記述例

※72時間予想雨量を記述した例

1日〇〇時までの24時間に予想される雨量は、いずれも多いところで、
 〇〇地域 ** ミリ
 △△地域 ** ミリ
 その後、2日〇〇時までの24時間に予想される雨量は、いずれも多いところで、
 〇〇地域 ** ミリ から ** ミリ
 △△地域 ** ミリ から ** ミリ

今後提供

前線が□□付近に停滞した場合、〇〇地方では、3日にかけて雨量がさらに増えるおそれがあります。

3日××時までの72時間に予想される雨量は、いずれも多いところで、
 〇〇地域 ** ミリ 以上
 △△地域 ** ミリ 以上
 の見込みです。

府県気象情報での記述例

2日にかけて予想される最大風速（最大瞬間風速）は、
 〇〇地方 **メートル（**メートル）
 △△地方 **メートル（**メートル）

今後提供

3日に予想される最大風速（最大瞬間風速）は、
 〇〇地方 **メートルから**メートル（**メートルから**メートル）
 △△地方 **メートルから**メートル（**メートルから**メートル）

2日にかけて予想される波の高さは、
 〇〇地方 **メートル
 △△地方 **メートル

今後提供

3日に予想される波の高さは、
 〇〇地方 **メートルから**メートル
 △△地方 **メートルから**メートル

の見込みです。

3日先までの雨量や、2日先の風速などの予想を具体的な数値で発表します

◆ 台風第19号の例 (関東甲信地方地方気象情報の場合)

令和元年 台風第19号に関する関東甲信地方気象情報 第2号
令和元年10月10日17時42分 気象庁予報部発表

(見出し)

大型で猛烈な台風第19号の影響により、小笠原諸島では12日にかけて猛烈なしけや大しけが続き、関東地方と伊豆諸島では11日から大しけや猛烈なしけとなるため、うねりを伴う高波に厳重に警戒してください。小笠原諸島では11日にかけて土砂災害に厳重に警戒し、関東甲信地方では12日から13日にかけて、低い土地の浸水、土砂災害、河川の増水や氾濫、暴風に厳重に警戒してください。

(本文)

[台風の現況と予想]

大型で猛烈な台風第19号は、10日15時には父島の南西の海上にあって、1時間におよそ20キロの速さで北へ進んでいます。中心の気圧は915ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は55メートル、最大瞬間風速は75メートルで、中心から半径240キロ以内では風速25メートル以上の暴風となっています。

～ 中略 ～

<雨の予想>

11日18時までに予想される24時間雨量は、いずれも多い所で

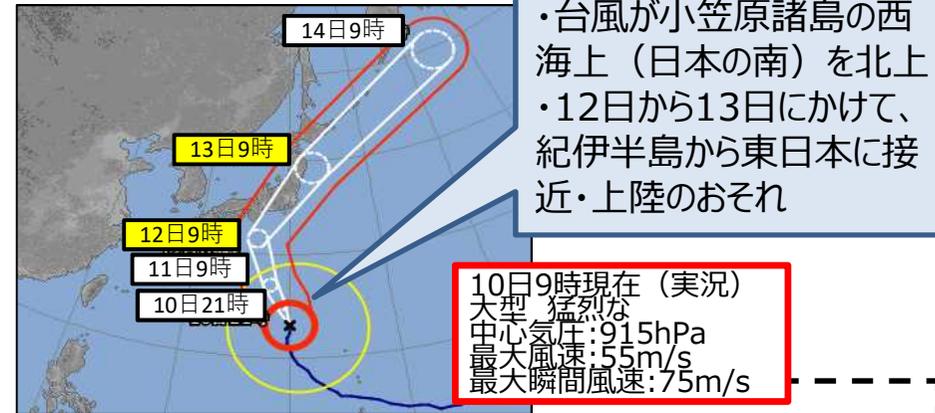
関東地方 100ミリ
甲信地方 40ミリ
伊豆諸島 120ミリ
小笠原諸島 80ミリ

その後、12日18時までの24時間雨量は、いずれも多い所で

関東地方 300から500ミリ
甲信地方 300から400ミリ
伊豆諸島 200から300ミリ

の見込みです。

その後も、台風の接近に伴い、総雨量が更に増えるでしょう。



・台風が小笠原諸島の西海上（日本の南）を北上
・12日から13日にかけて、紀伊半島から東日本に接近・上陸のおそれ

10日9時現在 (実況)
大型 猛烈な
中心気圧: 915hPa
最大風速: 55m/s
最大瞬間風速: 75m/s

(本文)

《72時間予想雨量の記述》

[台風の現況と予想]

大型で猛烈な台風第19号の影響により、小笠原諸島では12日にかけて大しけや猛烈なしけとなる見込みです。うねりを伴う高波に厳重に警戒してください。また、関東甲信地方では、12日から13日にかけて暴風、警報級の大雨や高波となるおそれがあります。

～ 中略 ～

<雨の予想>

11日18時までに予想される24時間雨量は、いずれも多い所で

関東地方 100ミリ
甲信地方 40ミリ
伊豆諸島 120ミリ
小笠原諸島 80ミリ

その後、12日18時までの24時間雨量は、いずれも多い所で

関東地方 300から500ミリ
甲信地方 300から400ミリ
伊豆諸島 200から300ミリ

台風の接近に伴い、13日にかけて雨量が更に増えるおそれがあります。

13日18時までの72時間雨量は、いずれも多い所で

関東甲信地方 700ミリ以上

の見込みです。

気象情報の改善について

1. 明後日（3日目）にかけての量的予報の発表
～3日先までの雨量や、2日先の風速などの予想を具体的な数値で発表します～
2. 短時間の大雪に対して一層の警戒を呼びかける情報
～北陸地方に加え、福島県と山形県でも実施～

短時間の大雪に一層の警戒を呼びかける気象情報の充実

経緯

- 平成30年2月上旬の福井県を中心とした大雪では、幹線道路で大規模な車両の滞留が発生するなど、生活に大きな混乱が生じました。防災関係機関からの意見や各官署での分析を踏まえ、強い雪が短時間に集中して降る時に、通常よりも警戒を一段、高めるための呼びかけとして気象情報を改善しました。

降雪量（実況値）と今後の見通しをセットにした気象情報（短文形式）の発表

- 警報基準を大きく上回る降雪量を予想し※₁ 大規模な交通障害等が迫っていると考えられる段階※₂ で発表します。
※₁：警報基準の1.2～2倍（北陸地方、福島県、山形県）
※₂：3時間または6時間の降雪量（観測値）と今後の降雪量予想等を踏まえて情報を発表します。
- 北陸地方では平成30年12月から運用を開始し、今冬は福島県、山形県で発表の準備が整いました。

発表の目安

対象	6時間降雪の深さが警報基準の地域		12時間降雪の深さが警報基準の地域	
発表の目安	3時間（観測）	6時間（予測）	6時間（観測）	12時間（予測）※ ₃
北陸地方、福島県（会津地方）、山形県	20～25センチ	30～40センチ	20～45センチ	30～110センチ

- 令和元年12月9日現在**の目安（地域の最小～最大）です。各市町村、平地または山地によって目安は異なります。観測実況値はアメダス等の観測を使います。目安は情報の効果を検証して適宜、見直します。
※₃：福島県（会津地方）は、3または6時間の降雪量と警報基準以上の降雪量（観測）、24時間の降雪量（予測）から発表します。

発表例

- 顕著な大雪に関する〇〇県気象情報 第〇号
〇〇市〇〇で〇日〇時までの〇時間で〇〇センチの顕著な降雪を観測しました。この強い雪は〇日昼過ぎにかけて続く見込みです。〇〇の平地では、大規模な交通障害の発生するおそれが高まっています。

短時間の大雪に一層の警戒を呼びかける気象情報の充実

平成13年（2001年）1月4～6日の大雪事例（最上町向町）の想定

- この事例は山形県内各地で大雪となり、大規模な交通障害が発生した事例です。
- 2001年1月5日の積雪差日合計62cmは、観測史上1位を記録しました。

顕著な大雪に関する山形県気象情報 第〇号
 平成13年1月5日11時15分 山形地方気象台発表
 最上町の向町で5日11時までの6時間で35センチの記録的な降雪を観測しました。この強い雪は5日昼過ぎにかけて続く見込みです。最上の平地では、短時間の大雪に伴って路面状況が急速に悪化し、大規模な交通障害の発生するおそれが高まっています。大雪に厳重に警戒してください。

